



HITACHI

\*本件は、現地時間 12 月 15 日午前 11 時(日本時間 12 月 16 日午前 1 時)に、米国で発表しています。

2008 年 12 月 16 日

GE 日立ニュークリア・エナジー

## GE 日立ニュークリア・エナジーの米国における ABWR の設計認証の更新申請について

GE 日立ニュークリア・エナジー(以下、GE 日立)は、このたび、米国原子力規制委員会(以下、NRC)に、改良型沸騰水型原子炉(ABWR:Advanced Boiling Water Reactor)技術の設計認証の更新を、2010 年半ばに申請する意向を通知しました。ABWR は、米国では GE 日立の前身である GE ニュークリア・エナジーが 1997 年に NRC から設計認証を受けており、認証の有効期限が 2012 年 6 月 11 日となっています。GE 日立は、次世代原子炉「ESBWR(Economic and Simplified Boiling Water Reactor)」の設計認証申請も NRC に対して行っており、原子力発電所の新設を検討している世界各国の電力会社のニーズに応じて、ABWR と ESBWR の 2 つの技術を提案することができます。

GE 日立の ABWR の設計は、1997 年、NRC に承認されています。この設計は NRC が初めて承認した 3 種類の先進的原子炉設計のひとつで、NRC の承認を受けた第 3 世代の設計としては商業運転が行われている唯一の原子炉となっています。ABWR は、日本において、4 基が運転されているほか、2 基が建設中で、さらに複数の建設計画があります。また、台湾においても 2 基が建設中です。その設計、機器供給および建設に関しては、GE と日立製作所が協力して実施してきました。

2008 年 4 月には、原子力発電所の新設を検討している米国の電力会社への ABWR の提案・提供のため、GE 日立と、パートナーである日立 GE ニュークリア・エナジー(以下、HGNE)が、カリフォルニア州サンノゼにある GE 日立の施設内にグローバル・ユニファイド・プロジェクト・オフィス(Global Unified Project Office)を開設しました。同オフィスでは、GE 日立の有する、米国で NRC の認証を受けている ABWR の技術や設計ノウハウと、HGNE の日本における ABWR 建設実績を踏まえ、さらなる建設コストの削減などをめざし、米国を含む世界各国の顧客に向けて取組みを進めています。

GE 日立副社長であるスティーブ・ヒューシックは、「ABWR の設計認証の更新申請により ABWR が確立された先進的技術であることが再認識されると共に、ESBWR の技術とあわせ幅広い安全性及び経済性の選択肢を米国をはじめ世界各国の顧客に提供できます。」と述べています。

GE 日立は、2012 年 6 月 11 日に有効期限を迎える、ABWR の設計認証の更新申請を 2010 年半ばに行うことを、12 月 5 日に NRC に対して通知しました。設計認証の更新の申請は、有効期限の 12 カ月から 36 カ月前に通知することとされており、今回の申請通知は、定められた日程に沿うものです。GE 日立は、申請後、2010 年中に NRC が精査を開始することを見込んでいます。

GE 日立は、今後も、日本において豊富な建設・運転実績を有する ABWR と、環境に配慮した次世代原子炉である ESBWR の受注活動を積極的に展開していきます。

以上